

H O

教区新報

YOG

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1997.10.11 115号

いのちの尊さを学ぶ

第二回御同朋総結集大会

第二回兵庫教区御同朋総結集大会が、十月二十四日と二十五日の両日にわたりJR神戸駅南に位置する神戸国際会館ハーバーランドプラザで、三千名の参加を

得て盛会に開催された。大会は、一九八五(昭和六十)年四月の組画変更発足後、五年後の一九九〇(平成二)年に第一回御同朋総結集大会を開催し、その七



正信偈の大合唱

年後の本年第二回の大会開催となった。本大会は、第一回大会の「願いと実践」を如実に受け止め、組画変更の理念を継承し、組画以来十二年目の現状を確実に認識することによって再点検をすすめ第一回大会に宣言した具体的実践が着実に行われているかを問うことが大会意義とされている。

大会は、テーマを「いのちのち・いのち」として第一部「いのちの詩を歌う」で正信偈の大合唱にはじまり、ご門主が出された「基幹運動推進御同朋の社会をめざす法要に際してのご消息」を高橋廣爾教務所長が拝読、実行委員長挨拶、豊原大成総長祝辞を山本宣昭師(組長会長・淡路組萬行寺)が代読、ご法話を杉本昭典師(北摂組光澤寺)(二十五日は松島法城師(多紀組専福寺)からいただき、昼食後、本大会宣言で明確にした「阪神・淡路大震災復興への協力」の実践として募金を行い、両日合わせて金六十六万六千六百二十九円の協力を得た。第二部「いのちの尊さを学ぶ」では、作家の高史明師から基調講演「いま、深きいのちを見つめる」と題し、神戸からお念仏の発信地となっ

てほしいと熱く語り続けられた。続いて高史明師、田中郁朗師(前基幹運動本部事務局局長)、外松太恵子師(青少年問題カウンセラー)(二十五日は正林菊子師(元仏婦連盟会長)のパネラーとコーディネーターに久堀弘義師(教区基推委副会長・神戸湊組行願寺)が当り、パネルディスカッションがもたれ、第三部「いのちの共感と誓い」では、タレントのオール阪神・巨人(二十五日は酒井くにお・とおる)が会場を大いに湧かせ、閉会式には、出田求さん(仏法連盟理事長)(二十五日は田中法鏡師(教区会議長・神戸湊組光明寺)が力強く大会宣言を行い有意義に大会を終了した。

本生二月、永年の学校勤務に終止符を打ち、寺門の護持運営に専念することとなった。◆昨年三月より八月に及んだ本堂屋根修復工事も終わり、五月には竣工慶讃・運如上人五百回遠忌法要を厳修した。今後は門信徒とのつながりを更に深め、門信徒の懇話会によって立派に修復された本堂を「伝道」「聞法」「和陸」の場として維持していきたいと思っている。◆四月より別院へ基推委総会、運如上人遠忌法要実行委、連研、差別法名過去帳調査に関する研修会等に参加することによって宗門の当面する問題の重要性を認識し、一僧侶としての責任の重大さを痛感している。◆JR福知山線の複線化に伴い、近辺に都会地寺院のご門徒の家が増えはじめた。月忌詣りを依頼される中で、お念仏を通じて新しいふれあいのできることを喜んでいる。風光明媚で四季の変化に富む歴史の町篠山で、観光客に寺史や浄土真宗発展の歴史を語ることも私の仕事になっている。(若宮 章隆)

教区だより

10・11月

15日(水)~16日(木)	別院常例法座	多田満之師	1時半	26日(日)	近畿ブロック仏青研修会	滋賀
15日(水)	仏婦常任委員会		10時半	27日(月)	都市開教推進部会	3時
19日(日)	仏壮常任理事会		1時	28日(火)	愛生園追悼法要	愛生園
21日(火)	災害対策常任委員会		2時	31日(金)	臨時教区会	10時半
24日(金)・25日(土)	第2回御同朋総結集大会	神戸国際会館ハーバーランドプラザ		11月1日(土)	第一土曜仏教講座	山内教嶺師 1時半
25日(土)~26日(日)	仏壮近畿ブロック連絡協議会		滋賀	8日(土)	全国門徒総代総結集大会	本山
				15日(土)~16日(日)	別院常例法座	川本法綱師 1時半

旧本堂の仏具類 無償で譲ります

神戸別院

本願寺神戸別院の旧本堂・旧対面所で使用していた法物仏具類で、現在の建物では今後使用しない仏具類について、当院崇敬区域内の寺院で有効活用してはとの声があり、当院財産管理委員会・総代会の同意を得、責任役員会で議決され、ご門主様のご認許をいただいた法物に対して無償で譲渡いたします。

- ①御厨子 屋根張140cm、奥行88cm、高さ200cm
 - ②常香盤 高さ91cm 横152cm
 - ③前卓 高さ72cm 横152cm
 - ④柱掛灯籠 一對 高さ13.5cm
 - ⑤隅瓔珞 一對 笠径13.5cm
- 二、譲渡方法
譲渡希望申込者の中で、優先順位としてまず、阪神・淡路大震災で①全域寺院、②半壊寺院、③被災寺院の順とし、該当希望者がない場合は、当院崇敬区域内の寺院の希望者で抽選にて決定いたします。譲渡希望者は、平成九年十二月十日までにお申し込みください。(担当北村まで)



③前卓 ②常香盤 ①御厨子

敬弔

柳川芳水師(やながわ・よしみ)北摂組西方寺衆徒) 六月二十四日、四十八才で往生。葬儀は六月二十六日西方寺で。「顕正院釋芳水」山崎一朗師(やまざき・いちろう)出石組正福寺前住職)七月二日、七十七才で往生。葬儀は七月四日、正福寺で。「照曜院釋一朗」昭和二十年より平成七年まで住職在職五十二年。昭和六十一年より組長。中央基幹運動推進委員会常任委員。教区基幹運動推進委員会副会長。昭和六十二年より平成三年まで特命布教使。教区布教副団長。本願寺派布教使。

増岡マツエさん(ますおか・まつえ)神戸中組正念寺前坊守)七月十七日、九十一才で往生。葬儀は七月二十日、正念寺で。「香華院釋尼松恵」

松本重信師(まつもと・じゅうしん)神明組光明寺住職)七月二十七日、八十一才で往生。葬儀は七月二十九日、光明寺で。「光明院釋重信」。昭和五十五年より住職在職十八年。昭和五十六年より同六十二年まで組長。平成二年より同六

谷川しづえさん(たがわ・しづえ)姫路東組願正寺衆徒、前坊守)十月二十日、九十一才で往生。葬儀は十月二十三日、願正寺で。「静香院釋尼慈恵」

森 義子さん(もり・よしこ)岡山北組妙願寺前坊守)十月十九日、九十三才で往生。葬儀は十月二十一日、妙願寺で。「顕證院釋義純」

水杉龍暁師(みずすぎ・りゅうぎょう)多可組正願寺前住職)十月十六日、八十一才で往生。葬儀は十月十八日、正願寺で。「教行院釋龍暁」。昭和十六年より同六十年まで住職在職四十五年。昭和四十年より同四十四年まで組長、同五十二年より同五十五年まで教区会議員。

西寺美喜子さん(にしでら・みきこ)加古川組寿願寺坊守)九月二十一日、八十三才で往生。葬儀は九月二十四日、寿願寺で。「寿光院釋尼香澄」。

水杉龍暁師(みずすぎ・りゅうぎょう)多可組正願寺前住職)十月十六日、八十一才で往生。葬儀は十月十八日、正願寺で。「教行院釋龍暁」。昭和十六年より同六十年まで住職在職四十五年。昭和四十年より同四十四年まで組長、同五十二年より同五十五年まで教区会議員。



本生二月、永年の学校勤務に終止符を打ち、寺門の護持運営に専念することとなった。◆昨年三月より八月に及んだ本堂屋根修復工事も終わり、五月には竣工慶讃・運如上人五百回遠忌法要を厳修した。今後は門信徒とのつながりを更に深め、門信徒の懇話会によって立派に修復された本堂を「伝道」「聞法」「和陸」の場として維持していきたいと思っている。◆四月より別院へ基推委総会、運如上人遠忌法要実行委、連研、差別法名過去帳調査に関する研修会等に参加することによって宗門の当面する問題の重要性を認識し、一僧侶としての責任の重大さを痛感している。◆JR福知山線の複線化に伴い、近辺に都会地寺院のご門徒の家が増えはじめた。月忌詣りを依頼される中で、お念仏を通じて新しいふれあいのできることを喜んでいる。風光明媚で四季の変化に富む歴史の町篠山で、観光客に寺史や浄土真宗発展の歴史を語ることも私の仕事になっている。(若宮 章隆)

豊原師、総長に

菅師は本廟局長



豊原大成総長

任期満了に伴う宗会議員の総選挙が行われ、僧侶議員は無競争で、九折舜壽師（揖龍西組正専寺住職）、菅義成師（綱十組聖安寺住職）、豊原大成師（阪神西組西福寺住職）、門徒議員は、教区会にて、堀静男師（姫路東組浄福寺門徒）が当選された。

七月二十三日に本山で召集された特別宗会にて、豊原大成師が総長に選出された。「蓮如上人五百回遠忌総合計画」が推進され、その核となる遠忌法要を間近に控え、豊原総局に大きな期待がよせられている。

また、八月一日付で、菅義成師が本廟局長に就任されたことも教区として大きな喜びにわいている。



堀 静男宗会議員



菅 義成宗会議員



九折舜壽宗会議員

去る、八月二十五日に神戸市内のホテルニューオータニで、豊原大成師総長就任・菅義成師本廟局長就任祝賀会を開催し、教区内から三百余人の方々が参集した。午後四時三十分には豊原総長、菅局長の入場で祝賀会は始まり、発起人を代表して高橋廣爾教務所長が挨拶、九折舜壽宗会議員、堀静男宗会議員の祝辞の後、豊原総長、菅局長からご挨拶をいただき、豊原総長には辻岡武子寺婦連盟委員長から菅局長には木村久子寺婦連盟委員長からお祝いの花束を贈呈した。田中法劍

八月三十一日、教区門徒推進員連絡協議会（桑田勇会長）では、結成十周年記念大会を開催した。大会は記念式典を物故会員追悼法要として、物故会員の遺族を招待して正信偈をお読めし記念法話を西池哲俊師（出石組勝林寺）からいただいた。昼食後、会員の西田瑛子さん、青木偉さん、高濱一郎さんから体験発表があり、続いて釋氏清子師（阪神西組源光寺）が仏教讃歌「故郷の人」の指導を行い記念講演を田中郁朗師（福岡教区西嘉穂組明信寺）からいただいた。

教区門推協 十周年大会

同会は、一九八八（昭和六十三）年六月十二日に発足し、現在で三六〇番まで登録がされ（二十八組二十九寺院に所属）、昨年から実行委員会を発足し、記念行事として、①記念大会の開催、②記念誌「法悦の歩み」の発行、③記念式章の作成、④物故会員弔辞の作成、⑤泊研修旅行の実施（平成十年一月二十五日、二十六日、塩屋別院・妙好人庄松同行をたずねて）の五項目に取り組んでいる。



ハワイで美代子夫人と一緒に

山崎一朗師を偲びて

布教団副団長

松本 龍圓

七月二日、公務を終えて帰ると、山崎一朗師の訃報に接した。「ああ！先生還浄されたのか」しばし感慨無量の想いかられた。想えば、先生との出会い、龍谷大学在学当時、三丹会（丹波、但馬、丹後）といって学生同志の「ふれあい」の場であった。同じ出石の内田舜圓和上も居られ御指導を仰いだことを想起する。

神戸で近畿仏婦大会

HO日誌

◆9月2日 蓮如上人五百回遠忌法要ご動座記念大会が大坂城ホールで。教区から約三百人が参加◆3日 安芸教区寺族婦人会より別院に団体参拝◆震災記録誌編集委員会が本場で◆4日 睦学園尚風館竣工式に高橋教務所長が出席◆4日 5日 組長・副組長・組相談員合同研修会を多紀郡篠山国民宿舎で◆6日 第一土曜仏教講座を別院で。講師は前川昌夫師（神戸新聞社会部長）テーマは「弱い者いじめの社会を正す」◆東西保育研修会が大谷派担当にて揖保郡の安養保育園で◆龍谷大学入試説明会が別院で◆8日 安芸教区広島北組浄円寺より別院に団体参拝◆震災における避難所について座談会が別院で◆9日 仏婦委員総会を別院で◆10日 基推アンケート調査委員会を別院で◆11日 第二回御同朋総結集大法会式部会を別院で◆12日 第二回御同朋総結集大法会総務部会を別院で◆研修指導部

会を別院で◆13日 モダン寺土曜子供会を別院で◆13日 14日 スカウト全国指導者研修会が別院で◆13日 15日 仏壮全国大会が鹿兒島別院で◆15日 16日 別院常例法座。講師は應供乗生師（城崎組清蓮寺）◆16日 教務所職員会議を別院で◆17日 18日 本派教諭師・篤志面接委員研修会が本場で。小松勝昭姫路少刑務所教諭師、赤松勸了加古川刑務所篤志面接委員、松島法城加古川刑務所教諭師、竹内英昭播磨学園教諭師が参加◆退職された菅野弘和さんの送別会を市内のたじま路で◆19日 門推常任委員会を別院で◆仏婦常任委員会を別院で◆基推アンケート調査会議を別院で◆20日 神戸西組宝珠寺門徒総会が別院で◆22日 24日 別院彼岸会。講師は佐々木淳成師（東海教区員弁組欣浄寺）中日には別院仏婦会員手作りのおぎを接待◆25日 第二回御同朋総結集大法会広報部会を別院で◆蓮如上人五百回遠忌法要団参担当者会議が本場で。安井担当者出席◆26日 布

吾一さんが蓮如芝居

12月に布教使 育成の研修会

現在、布教使をめざしておられる方や今後にと考えられる方々には是非とも参加ください。

- ・会名 布教使育成研修会
- ・日時 平成九年十二月一日（月）午後一時から四時まで
- ・会場 本願寺神戸別院
- ・講師 鈴木善隆師（滋賀教区野洲組明樂寺）
- ・参加費 不要
- ・詳細については、担当安井まで。

（訂正とお詫び）
例年の法シリーズ㊸「報恩講」の文中の「大悲無倦常照我」の掲載に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。